

総社・新本小児童と業者製作

フェイスシールド使って

市に100個寄贈

新本小(総社市新本)

の児童と、プラスチック製品製造のアキテックラボ(同所)が、医療従事者向けのフェイスシールドを共同製作し11日、市に100個を寄贈した。市内の医療機関に届けられる。

顔を覆う透明のプラスチックフィルムは横30センチ、縦20センチ。面ファスナーで頭部に固定する。同社が製作するに当たり、額部分に児童が手書きした「おうえんしています」「体調がよくなりますように」といったメッセージを添えた。フィルムは交換可能。

同小体育館であった贈呈式には、全児童69人と市などの関係者が出席。6年小坂亮太君(11)と同社の青木孝延社長が、片岡聡一市長と吉備歯科医師会の角谷久博会長に手渡した。

6年角谷瑞星君(12)

は「心を込めて作ったので役に立てばうれしい」と話した。

同小児童は毎年、校

外学習の工場見学で同社を訪問している。

(古川和宏)



新本小児童とアキテックラボが共同製作したフェイスシールド